

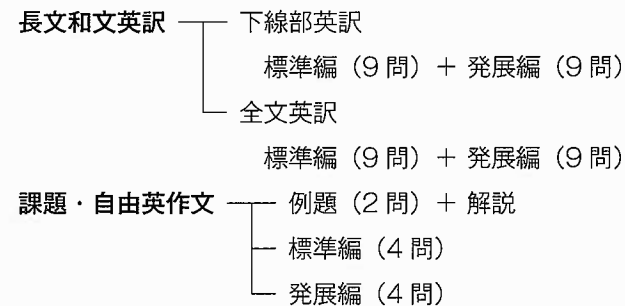
## ■編集の方針

英作文は、英語という外国語を使って表現する1つの形です。その「形」と内容を見れば、それを書いた人の英語力がわかります。英作文の力を高めることは、英語の総合力を高めることにつながりますし、英語の総合力を高めれば、英作文の力も高まります。

本書は、難関国公立大・難関私立大入試の英作文問題に対応し得る力を高いレベルの問題に取り組むことで伸ばすことをねらいとした問題集です。

## ■本書の特長と使い方

1 問題は難関国公立大・難関私立大の入試から**比較的長めの和文英訳**と**課題・自由英作文のみ**を44問精選し、次のように分類・構成した。



2 本書は一見「難問」と見なされるような問題を中心に収録しているが、**次の英作文のための6つの「コツ」**を習得すれば何も恐れる必要はない。

- ①日本語を解きほぐす。→ 英訳しやすい日本語に言い換える。
- ②主語の設定を的確に行う。→ しばしば省略される日本語の「隠れた主語」を見抜くことも必要。
- ③述語動詞の設定を的確に行う。→ 文型や動詞の用法には十分な習熟が必要。
- ④修飾関係を見きわめる。→ 形容詞・副詞・不定詞・分詞・関係詞を正しく使いこなすことが必要。
- ⑤接続表現に注目する。→ 接続詞・副詞（相当語句）に注意。
- ⑥「落とし穴」にはまらない。→ たとえば、直訳は不可。意味をよく考えて、適切な英語を選んだり、言葉を付け加えたりする。

最後になりますが、本書の編集にあたり、英文の校閲をしていただきました早稲田大学講師 Jayna Tokie Tanaka 先生に厚く御礼申し上げます。

本書が皆さんの英語学習に役立つものになることを心より願っています。

平成29年10月 萩野 俊哉

## Part 1 — 長文和文英訳問題

|                |    |
|----------------|----|
| §1 下線部英訳 ▶ 標準編 | 4  |
| §2 下線部英訳 ▶ 発展編 | 11 |
| §3 全文英訳 ▶ 標準編  | 20 |
| §4 全文英訳 ▶ 発展編  | 28 |

## Part 2 — 課題・自由英作文問題

|                   |    |
|-------------------|----|
| §5 準備編 ▶ 例題 1     | 37 |
| ▶ 例題 2            | 40 |
| ▶ パラグラフ・ライティングの基本 | 44 |
| §6 標準編            | 45 |
| §7 発展編            | 49 |

Exercises

■ 01～09 の日本語の下線部を英語の文に訳しなさい。

01. I am intensely envious of the weightless astronauts. (1) 彼らは水の中の魚のように、宇宙船の中をやすやすと動き回る。 They converse naturally among themselves, one of them “head up” and the other “head down.” It seems that man adjusts to the absence of weight. (2) しかし長い進化の歴史において、我々は一度もそのような無重力状態で生活したことはないのである。 (首都大東京)

(1)

(2)

**Hints** ▶ 「やすやすと」→「容易に、簡単に」と考える。 ▶ 「進化」 evolution ▶ 「無重力状態」 a weightless environment [condition]

02. The invention of farming changed human life forever. People now lived a settled life that could support many more people than hunting and gathering. (1) 人口が爆発的に増えるにつれ、村落は町や都市へと成長し、様々な階級が現れた。 The earliest civilizations developed in Egypt and Mesopotamia, with kings, organized religion and writing. (2) 道具や武器にするために、人々がどのように金属を使うかを学んだとき、社会は前進した。 (首都大東京)

(1)

(2)

**Hints** ▶ 「爆発的に」 explosively ▶ 「人口が増える」→ The population increases. と言えるか。 ▶ 「階級」 a class ▶ 「金属」 metal (通例、不可算名詞。ただし、種類を限定したり強調する場合は可算名詞扱いになる)

## Exercises

■ 19～27 の日本語の下線部を英語の文に訳しなさい。

19. 友達と一緒にいるときは、スマートフォンで頻繁にメールをチェックすることによって友達の気分を害することがないように気をつけましょう。 (中央大)

20. ボランティア活動に参加すると、人はしばしば違った環境に身を置くことになり、普段の生活では出くわさないような人々や状況に触れる経験をする。 (福島県立医科大)

**Hints** 19. ▶ 「～の気分を害する」 hurt *one's* feelings 20. ▶ 「～に身を置く」 put *oneself* in ~ ▶ 「～に出くわす」 come [run] across ~ / meet ~ by chance ▶ 「～に触れる」 encounter ~

21. 最近の親は、自分たちが子供時代にコンピューターゲームをやっていたせいもあって、ゲームを受け入れやすいようです。実際、休日は子供と一緒にゲームをして過ごすという人も多いと聞きました。 (福井県立大)

**Hints** ▶ 「～たせいもあって」 → 「～たので」などと考えるとよい。

## パラグラフ・ライティングの基本

英語の paragraph (パラグラフ) は日本語の「(形式) 段落」に相当しますが、日本語の段落にはないいくつかのルールがあります。最近、大学入試でも増加傾向にあるいわゆる「課題英作文」や「自由英作文」においては、ある程度まとまった分量の英語の文章を書くことになり、この「パラグラフ」に着目した英作文 (パラグラフ・ライティング) が求められます。

1つのパラグラフの構造は、大きく分けて、物語風を書く場合と論理的に書く場合とで異なります。ここでは、論理的に書く場合に絞って解説します。

一般的な英語のパラグラフの構造は、原則として次の3つの部分から成り立ちます。

### ① 主題部 (Thesis)

自分の主張したいことを述べます (そのような文のことを「トピック・センテンス (主題文)」(topic sentence) と言います)。抽象的な内容となる場合が多いでしょう。

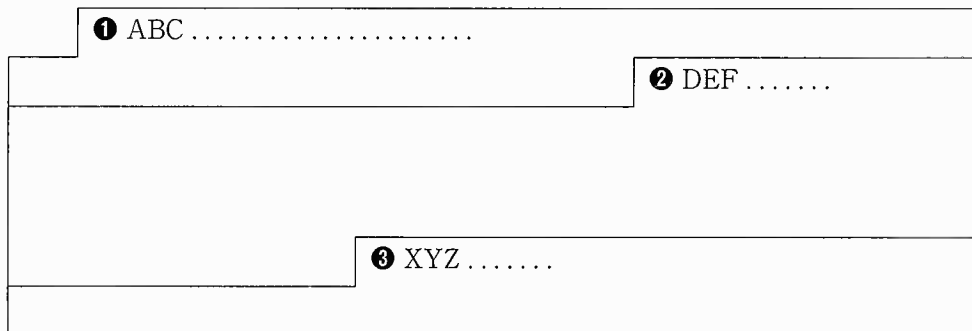
### ② 支持部 (Supporting Details)

①で主張する理由などを、具体例を挙げて説明します。

### ③ 結論部 (Conclusion)

そのパラグラフ全体の結論を示します。トピック・センテンスの内容を言葉を替えて述べることとなります。

#### (Paragraph)



そして、いくつかの複数のパラグラフから成る文章についても、最初のパラグラフは主題部を示し、続くいくつかのパラグラフは支持部となり、最後のパラグラフが結論部となる、といった構成になるのが基本です。

## Exercises

37. 下の画像について、あなたが思うことを述べよ。全体で60~80語の英語で答えること。

(東京大)

